

平成13年8月24日

各位

会社名 株式会社 ラックランド
代表者の役職名 代表取締役社長 望 月 昭
(登録銘柄 コード番号 9612)
問合せ先 取締役管理本部長 天明 恒 男
TEL 03-3377-9331

平成13年12月期 中間及び通期の業績予想の修正について

平成13年2月23日付当社「平成12年12月期決算短信」において発表いたしました平成13年12月期(平成13年1月1日～平成13年12月31日)の業績予想を、下記のとおり修正いたします。

1. 業績予想

(1) 中間期(平成13年1月1日～平成13年6月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	6,100	200	81
今回修正(B)	5,406	52	△ 54
増減額(B-A)	△ 694	△ 148	△ 135
増減率	△ 11.4%	△ 74.0%	—

(2) 通期(平成13年1月1日～平成13年12月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	13,300	623	289
今回修正(B)	13,030	523	197
増減額(B-A)	△ 270	△ 100	△ 92
増減率	△ 2.0%	△ 16.1%	△ 31.8%

2. 修正理由

(1) 中間期

当社の取引先であるスーパーマーケットや飲食店の売上高は、消費者の低価格指向による選別を受け既存店の売上高は未だ苦戦している状況にあり、当社に係る設備投資については一部のベンチャー企業を除いて極めて慎重といえます。そうしたことから、当社の中間期の売上高は出足は順調に推移したものの下期へのずれこみにより前回予想を約11%下回る見込みです。中間経常利益及び中間純利益の減少については売上高の下期へのずれこみの影響とゴルフ会員権の評価損97百万円を見込んだことによるものであります。

(2) 通期予想

ベンチャー型飲食店及び多店舗展開中の取引先とのタイアップによりプロジェクトチームを組成し、取引先ニーズにあった迅速な対応へさらに傾斜し、売上高は前回予想に対し、2%減まで回復できる見通しであります。経常利益及び当期純利益については、コストの低減に努めますが前回予想に対して経常利益で100百万円減、当期純利益で92百万円減の見通しであります。期末配当金については、前回予想と変わらない見通しであります。

ご参考：前期との比較

(1) 中間期

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前中間期 (12/1～12/6)	5,411	280	22
当中間期 (13/1～13/6)	5,406	52	△ 54
増減額	△ 5	△ 228	△ 76
増減率	△ 0.1%	△ 81.5%	—

(2) 通期

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前期 (12/1～12/12)	11,497	261	△ 288
当通期予想 (13/1～13/12)	13,030	523	197
増減額	1,532	261	485
増減率	13.3%	99.6%	—

以上